

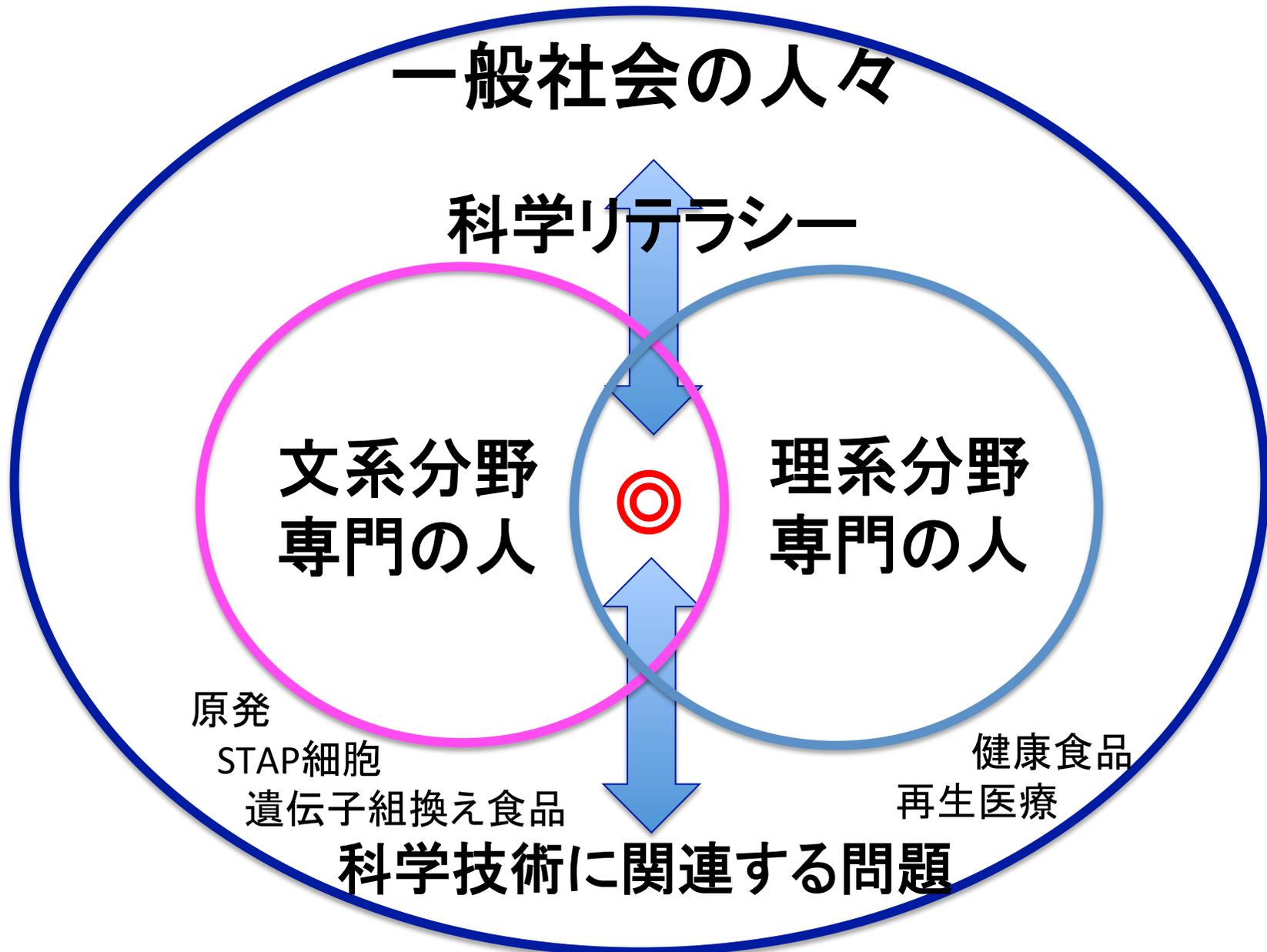
# **ALL DOSHISHA**

## **サイエンスコミュニケーター養成プログラム**

**生命医科学部 野口範子**

# 日本のサイエンスコミュニケーションの歴史

- 1948年 朝永振一郎 「科学と人間」 文化のなかの科学の位置づけ  
社会科学、人文科学との相互連関
- 1960年代 高度経済成長
- 1970年代 公害 反公害・反原発
- 1980年代 人間と社会の調和
- 1990年代 若者の科学技術離れ（理科離れ）
- 2005年 3機関で養成部門設置  
東京大学 科学技術インタープリター養成  
北海道大学 科学技術コミュニケーション養成  
早稲田大学 科学技術ジャーナリスト養成
- 2008年 同志社大学生命医科学部設置
- 2012年 サイエンスコミュニケーション協会設立



◎サイエンスコミュニケーター

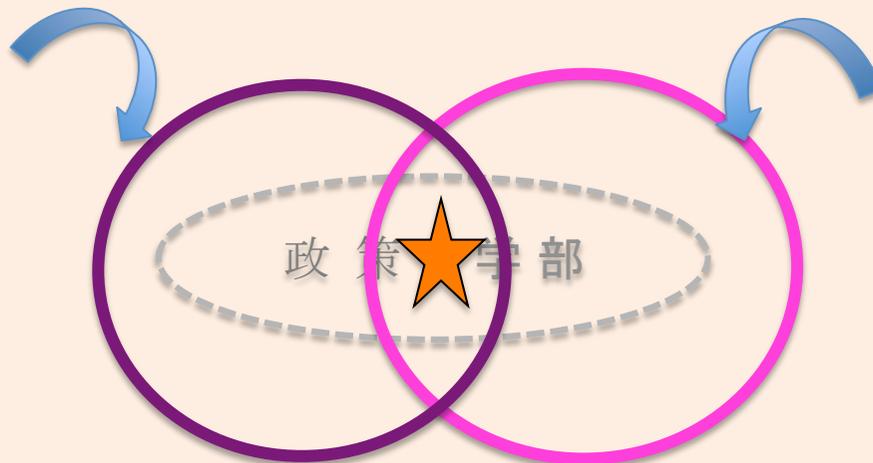
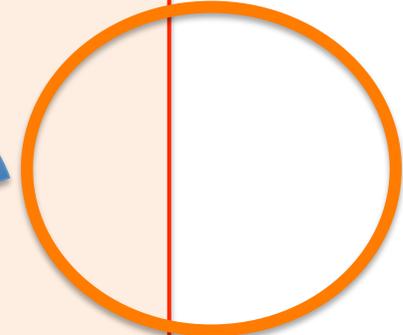
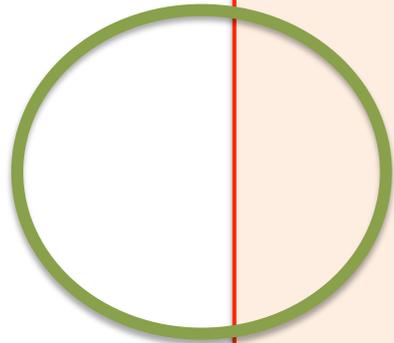
サイエンスコミュニケーションは知の体系の一つ

# 総合大学同志社大学

## サイエンスコミュニケーター養成副専攻 (2016年)

文系学部

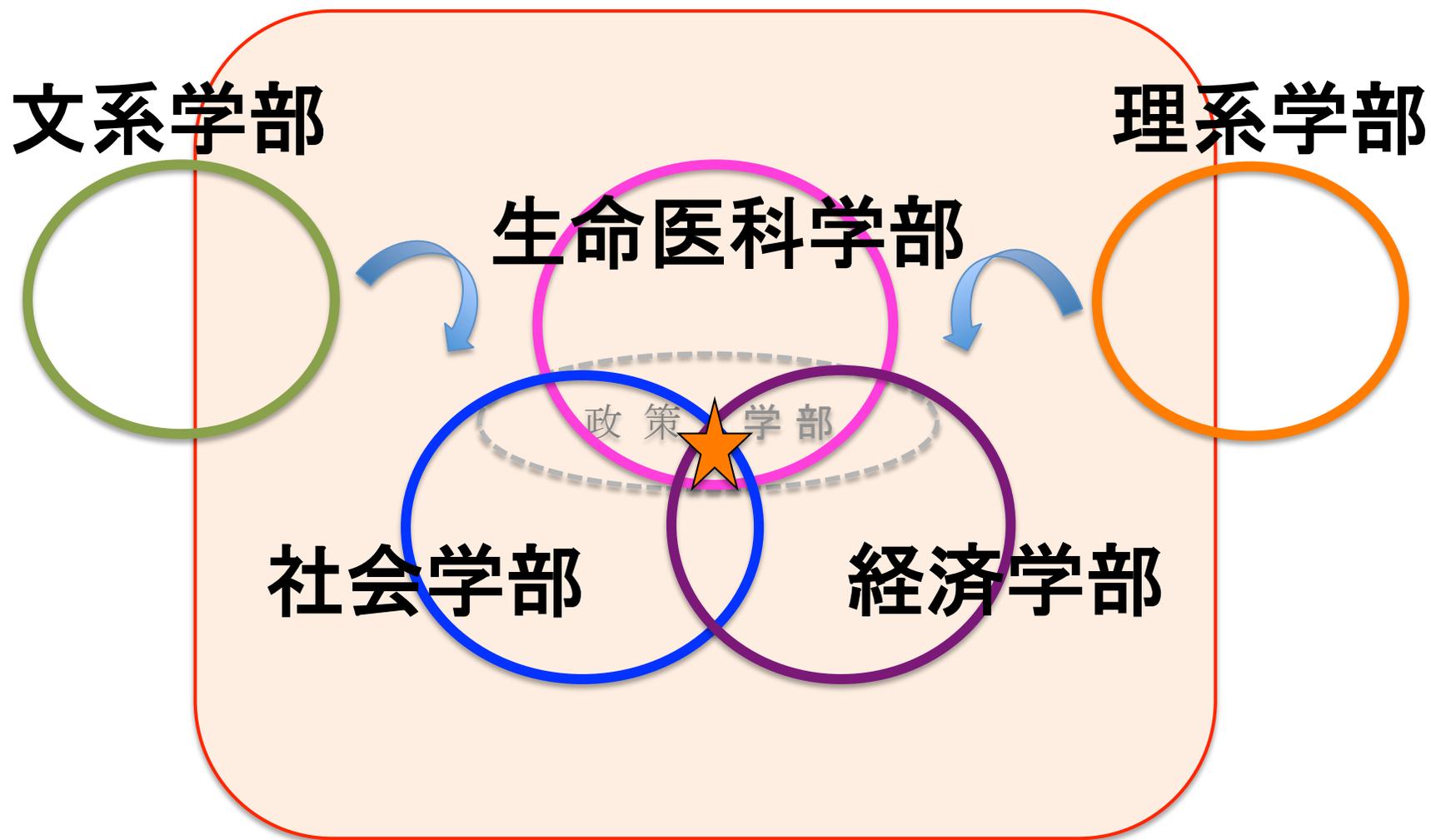
理系学部



経済学部 生命医科学部

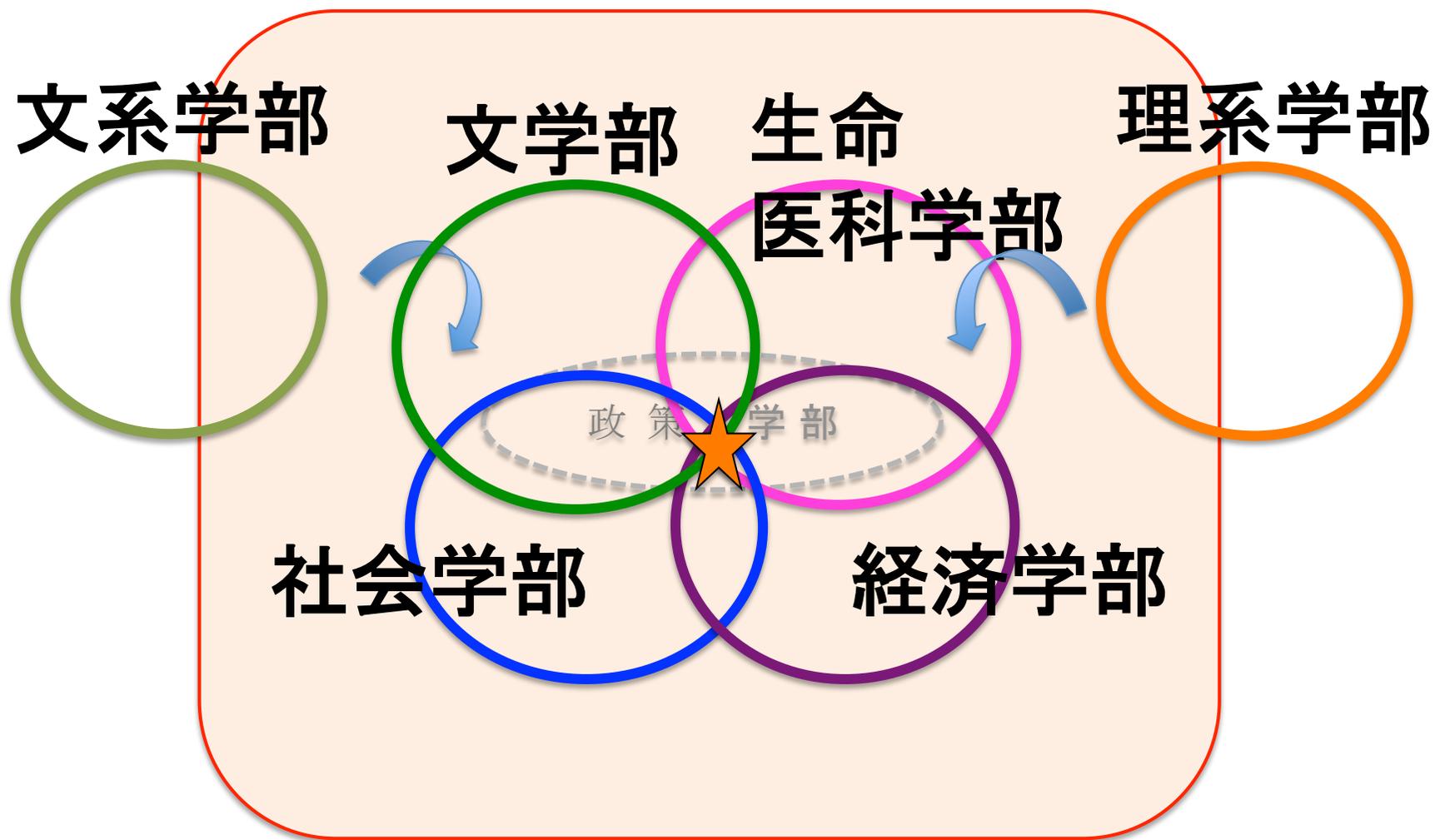
1期生37名

# ❖ サイエンスコミュニケーター養成副専攻 (2017年)



2期生42名

# ❖ サイエンスコミュニケーター養成副専攻 (2018年)



3期生45名

# サイエンスコミュニケーター養成副専攻カリキュラム

20単位以上で修了 定員40名+ α(少人数制エリート教育)

## ◎サイエンスリテラシー科目群 (12単位以上)

サイエンスリテラシー (両校地でテレビ通信で受けることができます)

科学技術概論 I (科学技術社会論)\*

科学技術概論 II (調査方法論/統計学)

アウトリーチ実習(科学技術表現実習)\*

サイエンスライティング\*

サイエンス・ナウ1(生命科学)\*

サイエンス・ナウ2(生命医科学入門)

サイエンス・ナウ3(報道と広報の現場)

サイエンス・ナウ4(科学史、原子力、感染)

サイエンス・ナウ5(インターンシップII 基礎講義)

サイエンス・ナウ6(生命と社会)

サイエンスとインテリジェンス

インターンシップ ビジネスワークショップ I (報道と広報)\*

メディカルワークショップ II (病院、医療少年院)

## ◎コミュニケーター関連科目群 (8単位以上)

生命医科学部科目・経済学部科目・社会学部科目

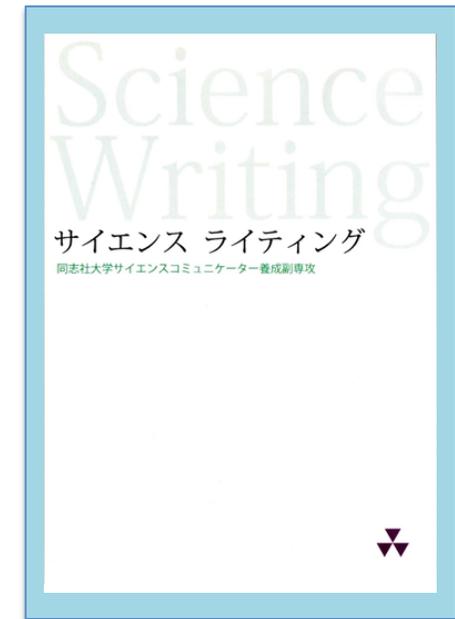
文学部科目・政策学部科目・心理学部科目

# \* 石浦章一先生

東大科学技術インタープリター養成プログラムの立ち上げに貢献



リーダー養成のための  
学部生向け倫理授業



今年度年から使用  
ライティング教科書

生命医科学部特別客員教授(～2020)

# サイエンスコミュニケーター養成副専攻カリキュラム

20単位以上で修了 定員40名+ α(少人数制エリート教育)

## ◎サイエンスリテラシー科目群 (12単位以上)

サイエンスリテラシー (両校地でテレビ通信で受けることができます)

科学技術概論 I (科学技術社会論)

科学技術概論 II (調査方法論/統計学)

アウトリーチ実習(科学技術表現実習)

サイエンスライティング

サイエンス・ナウ1(生命科学)

サイエンス・ナウ2(生命医科学入門)

**サイエンス・ナウ3(報道と広報の現場)**

サイエンス・ナウ4(科学史、原子力、感染)

サイエンス・ナウ5(インターンシップII 基礎講義)

サイエンス・ナウ6(生命と社会)

サイエンスとインテリジェンス

インターンシップ ビジネスワークショップ I (報道と広報)

メディカルワークショップ II (病院、医療少年院)

## ◎コミュニケーター関連科目群 (8単位以上)

生命医科学部科目・経済学部科目・社会学部科目

文学部科目・政策学部科目・心理学部科目

# サイエンスコミュニケーター養成副専攻カリキュラム

20単位以上で修了 定員40名+ α(少人数制エリート教育)

## ◎サイエンスリテラシー科目群 (12単位以上)

サイエンスリテラシー (両校地でテレビ通信で受けることができます)

科学技術概論 I (科学技術社会論)

科学技術概論 II (調査方法論/統計学)

アウトリーチ実習(科学技術表現実習)

サイエンスライティング

サイエンス・ナウ1(生命科学)

サイエンス・ナウ2(生命医科学入門)

サイエンス・ナウ3(報道と広報の現場)

サイエンス・ナウ4(科学史、原子力、感染)

サイエンス・ナウ5(インターンシップII 基礎講義)

サイエンス・ナウ6(生命と社会)

**サイエンスとインテリジェンス**

インターンシップ ビジネスワークショップ I (報道と広報)

メディカルワークショップ II (病院、医療少年院)

## ◎コミュニケーター関連科目群 (8単位以上)

生命医科学部科目・経済学部科目・社会学部科目

文学部科目・政策学部科目・心理学部科目

佐藤 優 先生  
(作家・元外務省分析官)  
神学部客員教授  
同志社大学特別顧問



2018年度より、「サイエンスとインテリジェンス」

# 本プログラムで育てたい学生

## 学部生 資質1: 積極的な動機を持つ

- ・将来のキャリア選択のための授業
- ・基礎からの学び(発表スキル、研究倫理)
- ・他分野の学生と共に学ぶ
- ・短期インターンシップ(早く現場を知る)
- ・世界学生環境サミット

⇒ 科学と社会をつなぐグローバルリーダー

大学院から始めた場合の問題点を克服

資質2 熱意・意欲がある

# 副専攻の時間割

春	9:00- 10:30	10:45- 12:15	13:10- 14:40	14:55- 16:25	16:40- 18:10	18:25- 19:55
	1	2	3	4	5	6
月						サイエンスナウ5
火					科学技術概論Ⅱ	科学技術概論Ⅰ
水					サイエンスライ ディング	サイエンスナウ3
木						サイエンスナウ4
金						
土						
秋						
	1	2	3	4	5	6
月						
火						
水					アウトリーチ実習	サイエンスナウ6
木						
金					サイエンスと インテリジェンス	
土		サイエンスナウ1	サイエンスナウ2			

- ・本専攻の授業が終わった5講時以降
- ・土曜
- ・今出川校地と京田辺校地はテレビ中継

# サイエンスコミュニケーター養成副専攻カリキュラム

20単位以上で修了 定員40名+α(少人数制エリート教育)

## ◎サイエンスリテラシー科目群 (12単位以上)

### サイエンスリテラシー

科学技術概論Ⅰ(科学技術社会論)

科学技術概論Ⅱ(調査方法論/統計学)

アウトリーチ実習(科学技術表現実習)

サイエンスライティング

サイエンス・ナウ1(生命科学)

サイエンス・ナウ2(生命医科学入門)

サイエンス・ナウ3(報道と広報の現場)

サイエンス・ナウ4(科学史、原子力、感染)

サイエンス・ナウ5(インターンシップⅡ 基礎講義)

サイエンス・ナウ6(生命と社会)

インターンシップ **ビジネスワークショップⅠ(報道と広報)**

**メディカルワークショップⅡ(病院、医療少年院)**

## ◎コミュニケーター関連科目群 (8単位以上)

生命医科学部科目・経済学部科目

社会学部科目・文学部科目

政策学部科目・心理学部科目

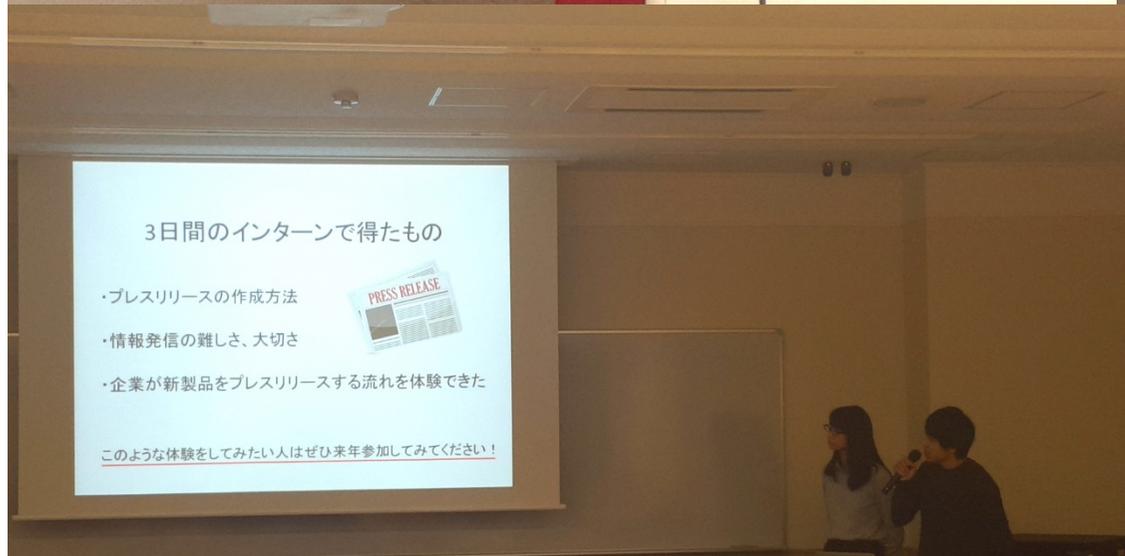
## インターンシップ I (ビジネスワークショップ)

1. 企業広報室 島津製作所、京セラ、イシダ、積水ハウス、雪印メグミルク、etc.
2. 放送局報道室 毎日放送、読売テレビ、京都放送、朝日新聞、読売新聞、京都新聞 etc.
3. 公営施設 京都市動物園

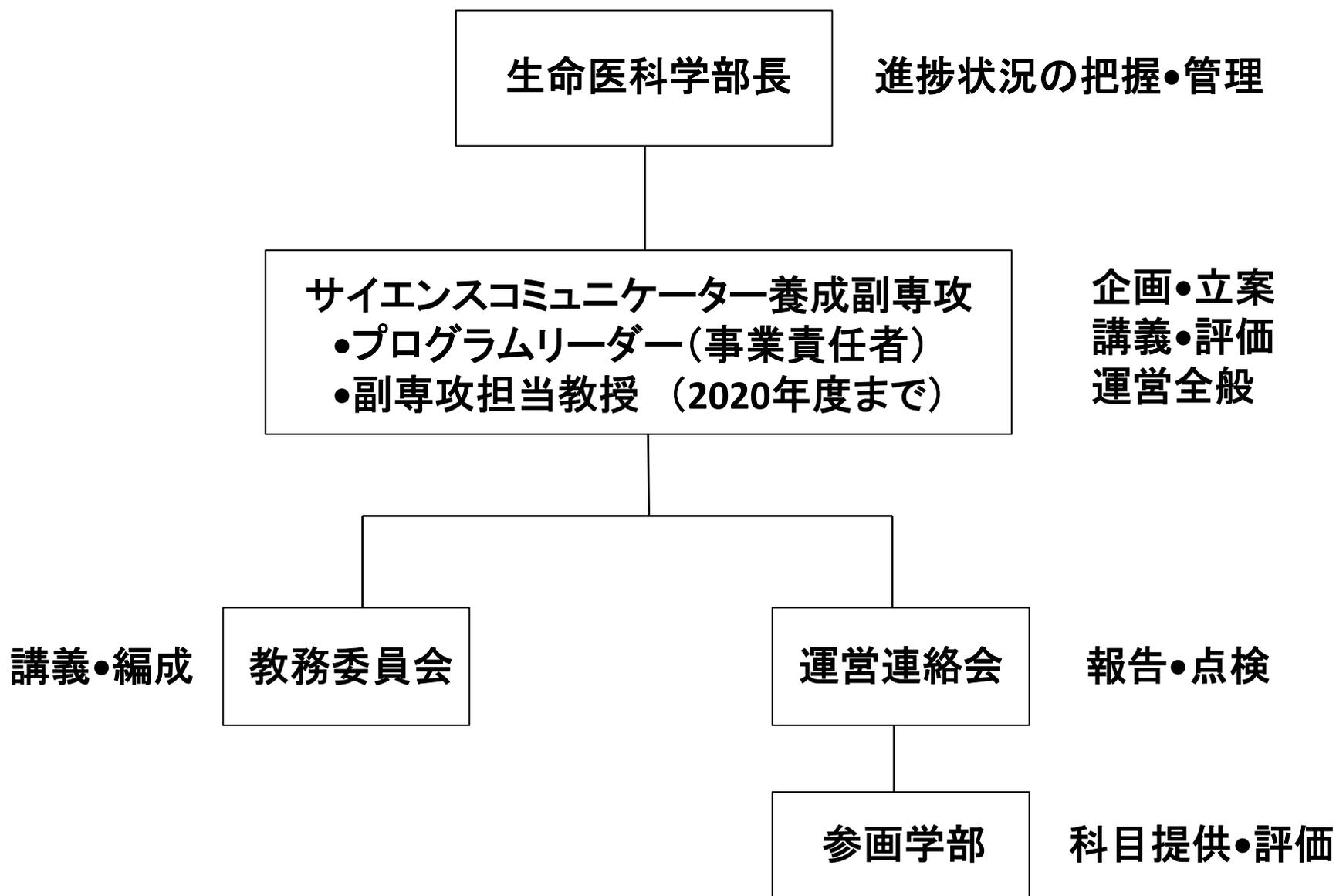
## インターンシップ II (メディカルワークショップ)

1. 国立病院機構 南京都病院 重度心身障害病棟 (3コース)
2. 京都医療少年院 (1コース)

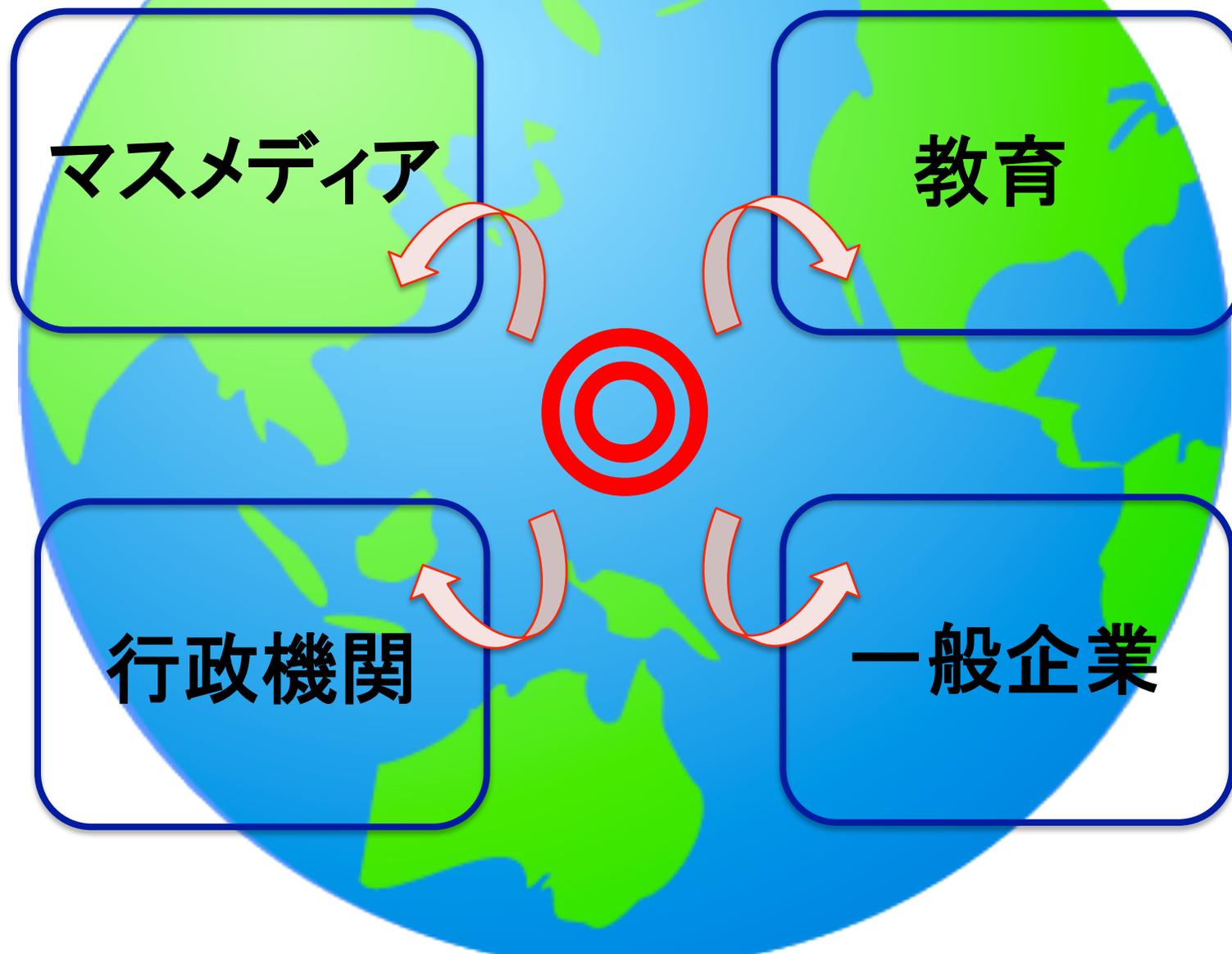
**発表会(京田辺) 学部を超えて学生が発表準備**



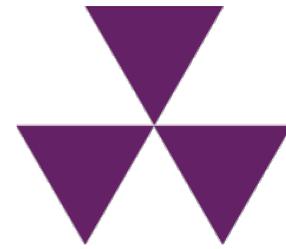
# サイエンスコミュニケーター養成副専攻の組織図



◎ 世界にはばたくグローバルリーダー  
サイエンスコミュニケーター



2018年8月26日～30日  
同志社大学で  
世界学生環境サミット開催



## 学生実行委員

**SC: Science Communicator**

養成副専攻の学生

32名(生命・経済・社会)

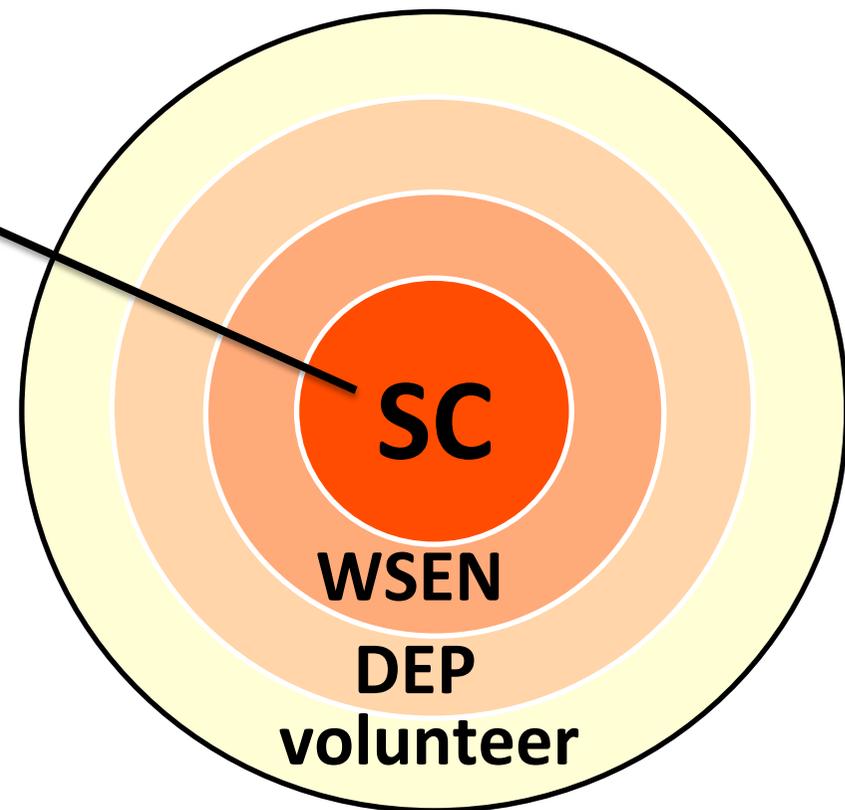
**WSEN: World Student**

Environment Network

1名

**DEP: Doshisha Eco Project**

1名



# サイエンスコミュニケーター養成副専攻講演会

第1回:サイエンスコミュニケーター その専門性とキャリア  
茂木健一郎、新実秀樹、竹内弘一

第2回:これから世界が求める  
サイエンスコミュニケーターとは  
池上 彰、佐藤 優

第3回:サイエンスコミュニケーターに必要な能力とは  
石浦章一、榊 太一、池谷祐二

第4回:サイエンスコミュニケーターは発信する  
—世界学生環境サミットを通して— (7月8日今出川)  
野口範子、佐倉 統、佐藤 優